

月報 岡崎の教育

54年度 No.71～82

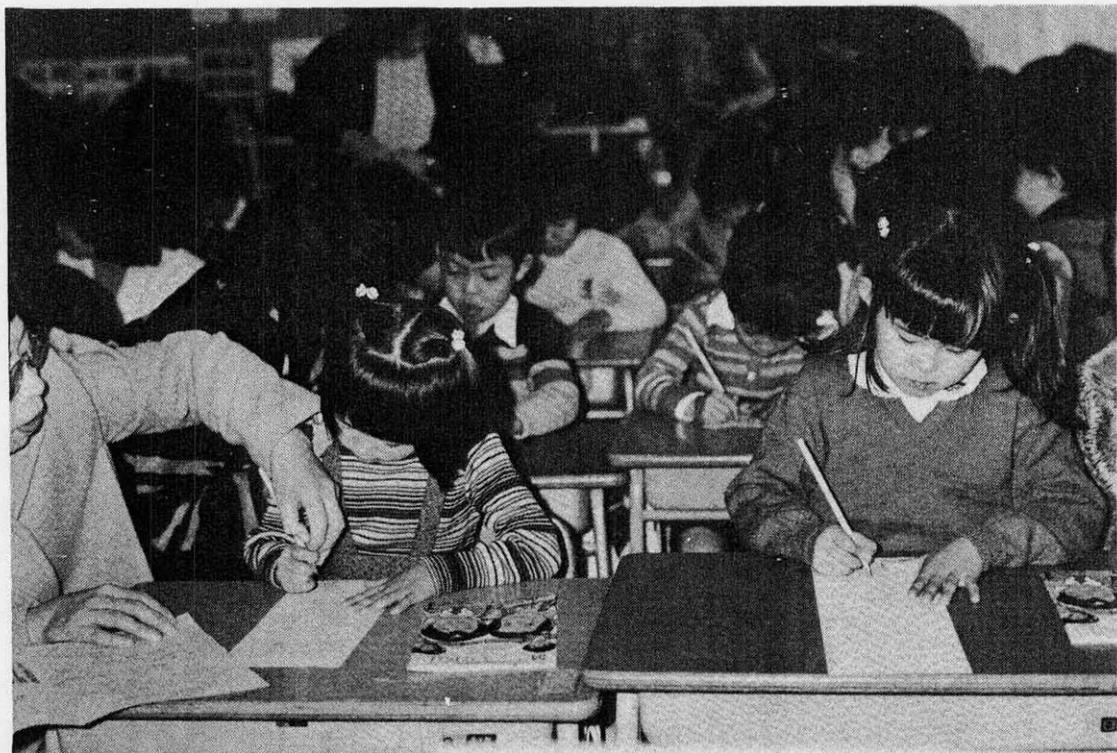


岡崎市教育委員会



一心に
 人さし指、親指、中指の
 指先に注意を集めて
 鉛筆を持つ新入生
 「ぼくの持ち方、これでいいでしょ。」
 「あら、うちの子ちよっとおかしいわ。」
 緊張の空気が流れ
 心配そうに見つめる親の顔
 一日入学は
 まず鉛筆の持ち方から始まる。

昭和54年4月1日
 編集／発行
 岡崎市教育委員会



(一日入学風景 — 城南小)



頭を良くする法

— 教育随想 —

鈴木 泉

頭が良いのは生れつき、という説があります。しかし、たとえこのことが本当であるとしても、教育にたずさわる者は頭を良くする方法をいつも追求しつづけています。私もその一人です。

近頃になって、頭が良いというのは記憶力と頭の回転が早いことであると思うようになりました。このことは人間の頭脳とコンピュータの頭脳を比較すると分ります。記憶力と回転力については、コンピュータのほうがはるかに優れています。どんな複雑な思考（計算）のプログラムでも数分あれば記憶してしまいますし、思考の速度も人間の約十万倍の速さで、しかも正確です。これに反して、人間は記憶したことも、すぐ忘れてしまいます。また、考えるのにも時間がかかります。そこで頭を良くする方法は、人間

が苦手とする記憶力と回転力を向上させる知的訓練をすればよいことになりました。

記憶力は生れつきのもので、どうにもならないと思っている人もあるかも知れませんが、記憶力も訓練によって向上するものです。流行歌の歌詞の暗誦でも努力次第で早くなるものです。（渡部昇一著『クオリティ・ライフの発想』）宴会のときに一番しか歌えないのは駄目である、ということになります。回転力についても同じことです。大人が本を読む速度は子どもよりも早い。いつも本を読んでいる人は、いわゆる斜め読みで、ページを数秒で読むことができます。しかし漫画を見るのは子どものほうが、はるかに速いのです。一度、競争してみると分ります。訓練の度合いが違うのです。

訓練の度合は、反復練習の回数の多少ということですが。

国語や算数の勉強でも同様です。基本的事項や基礎的な思考の方法を反復練習することによって、頭脳のプログラムを完成させると頭の回転は自然に早くなります。つまり頭が良くなります。

そんな教育法では、頭が固定してしまつて、創造的な思考ができなくなるといふ心配があるかも知れません。しかし人間の頭脳にはコンピュータにはない働きがあります。それは類推とか総合判断力とかいわれるものです。コンピュータは正確すぎて、この働きがありません。人間は4という数字を覚えると、先生の書いた4も自分の書いた4も本の活字の4も、みんな4であることが分ります。コンピュータは、こういうことができませぬ。郵便番号をコンピュータは読むではないか、と言われそうですが、そのためには、大変複雑なプログラムをコンピュータに教えなければなりません。

教育を考へるときは、この人間の頭脳の優秀性に着目する必要があります。人間はこの働きで、いくらでも自由な思考が可能で、そこで、一番大切なことは反復練習用の教材をいかに精選するかです。これを誤るとつめこみ教育になってしまうのです。

（愛知県立昭和高校長

前県教委学校教育部長）



スケッチの時間に

ひと苦勞

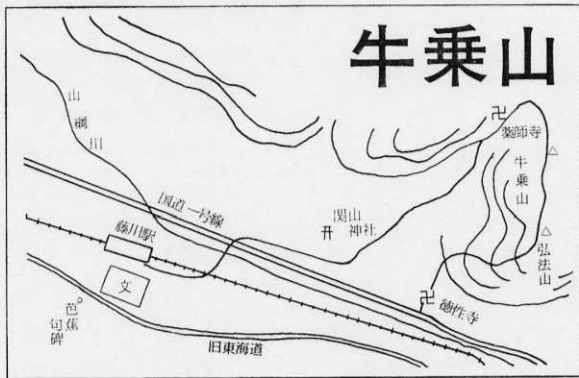
古橋 睦典

今回の旅行は無論団体である。日程表には所々個人研修とあるが、それは名ばかりで、実際には団としてオアションツアーが組まれたり、班行動を余儀なくさせられる。ゆつくりスケッチという時間はほとんどなかった。

朝早く起きてかこうとする。しかし、晩秋のヨーロッパは朝が遅い。おまけに霧の深い日が多く、ままにならない。時間をかけて食事をするほどにと思つたが、これとて、ひとり席を離れてスケッチに出る訳にはいかない。だから、スケッチする時間を生むには人々が買物をしている間か、次の目的地に向うためのバスを待つわずかな時間しかない。それでもかいておきたい。ごく限られた時間だから自然と早がきになる。彩色はバスの中から、ホテルで行なった。それでもなんと一冊かいてきた。

ところで、旅行後、家で水彩や水彩を描く段になるとこの早がきの乱暴なスケ

牛乗山



山の稜線が牛の背のようにみえるところから「牛乗山」と名付けられ、名鉄本線藤川駅から北東約一キロメートルに位置している。高さはおよそ一五〇メートルである。頂上からみる眺めは、西方には、三河高原の端に市街地が広々と開け、その向こうにキラキラ輝く矢作川の曲がりくねった流れとともに、沖積平地さらには、安城方面の洪積台地が一望におさめられる。天気恵まれれば、その遠くの方に養老、鈴鹿の両山脈、そして、一段高く伊吹山がのぞめる。北方には、この山と肩を並べた丘陵の彼方に恵那山がそびえている。そして、南方、すぐ眼下には、鉄筋の藤川小学校、市場、藤川の

町並が旧東海道に沿って並び、それに平行して、名鉄本線、国道一号线が騒音とともに手にとるように眺められる。

藤川小のすぐ南西に十王堂が建っている。この庭に「爰も三河 むらさき麦のかきつばた」という芭蕉の句碑がある。この句は、芭蕉が東海道を旅した時、牛乗山から眺めた藤川の地をよくよんだと言われている。当時の牛乗山およびその周辺は、特に美しい眺めではなかっただろうか。畑には、むらさき麦（高野麦ともいわれている）が独特の色合いをみせていたことであろう。当時の藤川の里の自然の美しさがほうふつとしてくる思いである。

明治から、特に、大正、昭和初期にかけて、地元の人達にとって牛乗山は憩いの場であった。旧三月三日の節句の日には、青年団が主催して、山の頂上で運動会が行なわれた。幼児、小学生はもちろん、おじいさん、おばあさんまで参加したこの行事は、まことに有意義なものであった。当時は、現在ほど遊び場、遊び時間もなく、正月も過ぎ、ようやく春の訪れを待つ。しかも、まもなく農作業が始まる前のひとときを、手作りのいごまんじゅうを食べながら松の木の間を二人三脚したこと、これは、さくばくとした現在の世相から考えると、なつかしいという言葉以上のものがあると思われる。

地質学的にみた牛乗山は、また、大変重要な位置を占めている。市の天然記念物に指定されている牛乗山の石は、領家

変成岩類に属する石英片岩と雲母片岩よりなり、みな丸い。これは、地質時代、荒磯であったことを物語っている。

現在、頂上西側に臨濟宗妙心寺派、一畑山薬師寺が建立されつつある。いよいよ明春四月十五日には落慶を迎え、当日は全国から信者一万五千人が参列の予定という。

遠足には、牛乗山の巨礫、礫層の観察をし、この霊場を経て、同じ峰の弘法山から徳性寺におりるとよい。その道中には、新四国八十八カ所にちなんだ多くの地蔵が温かく迎えてくれる。

（大門小 酒井 豊）



ツチがあるとないとでは大違いである。印象や写真だけでは絵をかくのはむずかしいことを痛感した。

（井田小）

フライリピンの旅

藤澤 計子

初めての海外旅行は、素晴らしかった。色鮮やかなジブニー、トライシクル。路上に群れなす水牛、人なつっこい子ども微笑、輝く南国の太陽、風にゆれるヤシの木、どこからともなく聞こえる南国のリズム、フライリピンを形容する言葉は尽きない。私は、叔父が原地で暮らしているということで、彼と二人で初めての空の旅としゃれこんだ。東南アジアの中でもマニラは、最もエキゾチックな町で、古代アジア文明を基調に、スペイン、アメリカの影響を受けている。中心を流れるパッシング川の河口にかけて、中世風の城壁に囲まれた廃虚がある。一五七一年、スペイン人が外敵に備えて築いたと聞く。城壁近くには、サン・オーガスナ教会や、リサル博士が閉じ込められたというサンチャゴ要塞、第二次大戦中の悲しい歴史を語る建物などがあり、退屈を感じさせない町だった。

- ・日盛りの水牛二頭動かざり
- ・夕立に髪洗われてルソン島

（岡崎小）

校訓の碑

春四月、新しい職員も加わり、初々しい新入生を迎える。どの学校も理想を高く掲げ、はりきってスタートする。

この理想を校訓に生かすわけだが「校訓は？」と聞かれ、即座に言える子どもが何割いるだろうか。

知っているだけでは何にもならない、ということもいえるが、知らないではじまらない。ところで、校訓のない学校もある。そのかわり、生活目標的な具体的なものがある。

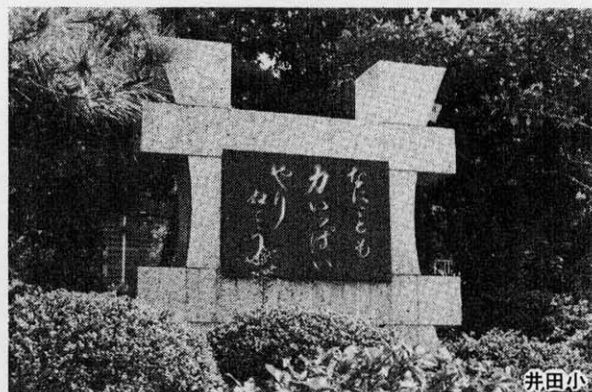
こういうものを石に刻んで、掲げることには、



矢作北小



岩津小



井田小



羽根小



矢作南小

異議をとなえる考えもあるが、要は、その生かす方ではなからうか。絵にかいた餅にならぬよう、いかにして血を通わせるかが問題。

写真でもわかるように、学校の伝統を生かしたことは、生治のめあてを示したものがあがるが、いずれもよく考えられ、それにふさわしいものがある。

(今回は、学校管理案に校訓として明記され、石碑となっている学校について掲載させていただきました。)



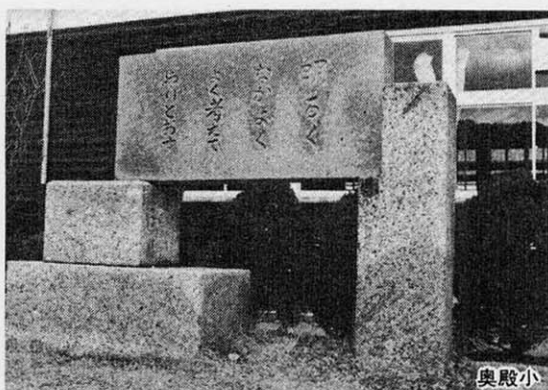
広幡小



常南小



香山中



奥殿小



常磐中



矢作西小



福岡中



根石小

教育日々



M子の成長

岩津小 永田雅子

小学校で始めての学芸会、子ども達は張りきっています。

練習はひとつの動作、せりふの言い回しも学級全体で作られていくようにしました。配役もいろいろな役がやれるように時々代えてやりました。少し時間がかりましたがみんなの問題として取り組むように、そして、その過程で何かをつかませたいと思いました。

そのためか、せりふを忘れると小さな声で教え合っていました。腕白でいじめっ子のH男も得意そうに口をとがらせて女の子の世話をやいています。

そのなかで、内気で動作も遅く、目立たなかったM子の成長は目をみはるばかりでした。



宿屋の娘になったM子は小さな声で

「男の子のねているうちにぬすんでしまいましょよ。」と相手に話しかけるそのせりふの言い回しがすばらしかったので

「Mちゃんのことば、みんなदैきいてみようよ。」

と、いつて気持ちのあふれてい

ることをみとめました。

「声が大きいともっといいね。」

そこから出発してM子の自信は、目に見えて広がっていきました。大きな声でひとことひとことしっかりと話せるようになり、授業中も挙手が多くなり、自信をもって参加するようになり、学芸会前のくずぐ

ずした態度がまるでそのようです。

先日学芸会のビデオが放映された時のことです。

「うわあ、あれぼく」

「あつ、ほんとだ。」

「もうじき、わたしが出てくるよ。」

腰掛からたちあがり、照れくさそうに、小さな手で顔をおおいつながら、指のすきまからのぞいている目。落ちついてみていられないようでした。M子もはすかしそうに、でもうれしさはかくせないようでした。

これからも、M子もH男も含めて子どもと共に、泣いたり笑ったりしてすすんでいきたいと思っっています。

スライド教材作り

広幡小 神尾昌彦

「社会事象は生きている。社会科教師はいつも地域を鋭く観察する眼を養わなくてはだめだ。」

「しかも若いうちに足でかせいで勉強しておけよ。」

先輩達の励ましを受けて、サークルの仲間と共に六年前からスライド教材作りに着手した。初め三年をかけて岡崎の農業編

を完成し、次いで商工業編を二年で完成し、現在は教育文化振興事業の補助金をうけ、歴史景観編を作成中である。

スライド撮影にあたって私達が教育大の松井先生から指導を得たのは次の三点だった。

- ①子供の関連的發展的思考が可能となる系統的な柱立ての工夫
- ②地表に表われた現象と人間生活とを結びつけた内容とする
- ③スライドは機能そのものを見せるのでなく、機能的なものがどのように表現されているかを見せるのである。

以上のような崇高な理想を掲げたものの、写真撮影など未熟な私達は、今まで何本のフィルムを浪費したか見当がつかない。やがて、スライド教材作りの難しさは、単に撮影技術の上手下手でなく、地域を見つめる眼、社会事象を解釈する能力の有無で決まることを悟った。

私は仲間と夜スライドを持ち寄って検討会をするのが好きであった。一種の興奮さえ覚えた。一枚のスライドをもとに、要素や機能がどう表現されているか、撮影時にした聞き取り等を発表する。これが随分勉強になった。自信满满で説明提案しても十名程の仲間にかかると惨めな結果

で、再び振り直しとなる。大体が口の悪い連中であるから遠慮というものが無い。

切越の山道で車がエンストしたことや、築野の乙川で、河岸段丘を必死の思いでロッククライミングまがいの撮影行をしたことや、工場で守衛さんに怒鳴られたこと。須淵の崖で足をすりむき、体中イノコツチだらけになって閉口したことなど誰も問題にしない。「そうか、気の毒だったな。しかし、この写真はいいかん。話しにならない。」で終りである。

日曜日に撮影に回るので、家族の評価はさがる一方である。でも、厳しい仲間と一しょに仕事ができ、本当に幸せであると思う。





昭和五十四年度

学校教育の重点

広く教育の荒廃が叫ばれている中であって、岡崎の教育が世間一般から、高い評価を受け、市民父兄の深い信頼を得ているのは、岡崎の教育に携わる者が校長を中心とする知恵協力の研修によって、専門職としての自覚と技術が向上し、高い識見と実力を有するからである。

本年は国際児童年の年に当り、また新学習指導要領への移行二年目でもある。

この年に当り、岡崎の教育者はさらに覚悟を新にして、ひたすら、子どもの方を向き、子どものために、主体的、本質的、創造的な実践を進めなければならない。

本年の重点目標は次の如くである。

〔寄贈研究物・資料等〕
◇生き生きと活動する体育学習
福岡小学校

低学年の基本的運動を含めた器械運動を中心とした二年間の研究記録・B5判・一二三頁

◇ササユリよみがえる里
香山中学校

生徒・教師・学区民が一体となったササユリの人工栽培の記録・新書判・四三頁

◇ふれあい5 教務主任会
日々の実践の中からまとめた教育随想・B6判・九九頁

◇指導の手引第3集 B5判
教科指導員の会・六七頁

教科は従来通り教育テレビ放送の中でも、利用頻度の高い社会・理科(小・中)道徳(小)英語(中)をとりあげた。

今年度は新指導要領の移行期にあたっているため、先に市教委から出された各教科・領域の教育課程に基づき、放送番組との関連を十分考慮した。

放送番組と

学習指導関連表

このほど、視聴覚ライブラリ

1. 現職教育視聴覚部の手により製作された「昭和54年度、放送番組と学習指導関連表」を各学校に配布した。

この関連表は、三年前から製作・配布してきたが、今年度は大中に部数を増やし、学級担任・教科担任の手もとに一冊ずつ配

送利用の学習が、年々高まる中で、この関連表が少しでも役立てば幸いである。不備な点はご指摘いただき、今後、よりよいものにしたいたいと考えている。

■小中学校長会役員決まる

【小中学校長会】

▼会長 Ⅱ 塚本時丸 Ⅲ 副会長 Ⅱ 連尺小・権田梅芳・南中・神谷卓爾・梅園小・岩月貞夫

【小学校長会】

▼会長 Ⅱ 連尺小・権田梅芳 Ⅲ 副会長 Ⅱ 梅園小・岩月貞夫・根石小・片岡利夫 Ⅳ 評議員 Ⅱ 根石小・片岡利夫・岩津小・市川幸男・三島小・石川博・六名小・稲垣茂・広幡小・荻野富義・緑丘小・岸田達夫 Ⅲ 庶務 Ⅱ 美合小・沢田昇 Ⅳ 会計 Ⅱ 竜美丘小・鈴木依治 Ⅴ 監査 Ⅱ 大門小・高橋孝

【中学校長会】

▼会長 Ⅱ 葵中・塚本時丸 Ⅲ 副会長 Ⅱ 南中・神谷貞爾・六ツ美中・太田昇 Ⅳ 評議員 Ⅱ 六ツ美中・太田昇・岩津中・加茂正雄・福岡中・神谷四士保・甲山中・浅井凌一・城北中・横井滋・矢作中・長嶋利一 Ⅲ 庶務 Ⅱ 美川中・大塚鑑治 Ⅳ 会計 Ⅱ 東海中・小林 Ⅴ 監査 Ⅱ 竜海中・渡辺尚三

■野鳥保護で大臣表彰

河合中学校

学区の野鳥保護をめざして調査、研究を進めてきたが、その活動が認められ、文部大臣表彰が決定、五月十二日全国野鳥保護のつどいの席上受賞する。

学校・先生の著作紹介

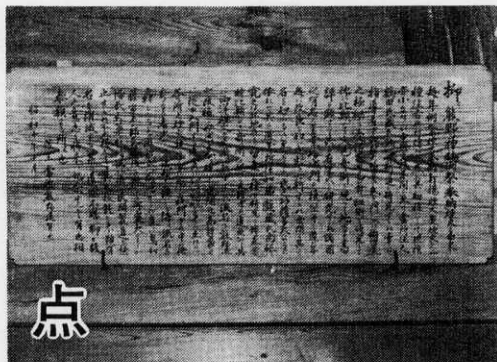
- (1) 書名 豊根つ子の学級
- (2) 著作者 南中・山浦昭雄
- (3) あらすじ

現在の英語教育界では、習慣形成理論とか、認知学習理論とかのむずかしい論争が展開されているが、どちらの論をとるにせよ、学習の主役である生徒と、わき役である教師との呼吸がぴったり一致しなくては、授業は効率よく進展しない。さらにそこへ父兄を加え三位一体となった時、授業は一番高い効率で進められるであろう。本書は僻地豊根中学校において、筆者が三年間毎日学級通信を発行し、この三者を結びつけ、英語教育をおし進めていった実践の記録である。

- (4) 発行所 ELEC 出版部
- (5) 版形・頁数 A5判・二六二頁



煙火 「熊野流」 由来記



所在地 - 岡崎市奥殿町西日影

奥殿のバス停から右へ、霞川に懸る橋の袂から南を望むと、こんもりした森に白い鳥居が目につく。ここが熊野神社である。かつては村積神社(村積山頂)への裏参道口として、近郷近在の人の往来も多かったといわれる。

この神社の拝殿正面に、熊野流煙火の由来が奉額してある。それによると、毎年の例祭に打揚煙火と庭煙火が、奥殿住人の手造りによって奉納されていた。が、文政年間に同地に住む鶴田

民蔵氏が改良を加えて古形を一新した。

その後、加藤瀧蔵氏が更に研究を重ね、製造煙火を熊野流としてその名を世間に高めた。当時、名声を頼って入門する者は四百余人もあつたといわれる。明治に入って、火薬取締法が制定されるに及んで、その製造が禁止されたことから、秘術も伝承されずに消滅した。神社には諸道具や手筒も蔵されていたが、いつの間にか処分され、今はその姿もない。

が、いつの間にか処分され、今はその姿もない。

- 題字 岡崎市長 内田 喜久
- タイトルイラスト 矢南小 大村 寛
- カット 梅園小 鈴木 幸子

この本を

- 教育は死なず 若林 繁太
労働旬報社 ¥ 1,200
- 世界の学校・日本の学校 波多野完治
小学館 ¥ 880
- 美しき人々 宮田 丈夫
ぎょうせい ¥ 1,700
- 日本の文字 樺島 忠夫
岩波新書 ¥ 320
- 風俗学 多田道太郎
ちくまぶっくす ¥ 850
- 長良川 岐阜大学長良川研究所編
三共科学選書 ¥ 1,700
- 生命の科学を考える 渡辺格・山口雅弘
共立出版 ¥ 980
- 女と自由と愛 松田 道雄
岩波新書 ¥ 320
- 珊瑚 新田 次郎
新潮社 ¥ 980
- 日本商人事情 深田 祐介
新潮社 ¥ 800

「おトイレに行きたい人は、どうぞ。」
どうして「お」をつけるんだろう。

便所、洗面所、手洗い、古いところでは日本語って何かなど、ふっと思っただ。「便所」というと発音から汚いよな。別にこの言葉にこだわらないが、日本のことをばを大事にしたいと思う。

将来何になりたいか。子供達に書かせた。いっしょうけんめい勉強して先生になるんだ。宿題は出さない、でも勉強の大きい子供を育てるんだ。と、おとなしいが、努力家の女の子が書いた。脳天に一撃をくらった気持ちだ。子供の眼は鋭い、現実はそのじやないのだと言訳は許されないものがある。

シオシア

あつという間に一年がすぎる。あわただしく卒業生を送り出したらもうあれよあれよという間に新学期。新しい制服に胸をふくらませた新入生にあらためて、私たちも緊張。あたち時間無駄にすることなくあすの子供を育てよう、と。

スキーシーズンが終わった。好きなスキーも今年は中止。高校入試で、生徒がすべらないようにと変にこじつけてみたものの、ほんとは、そんなゆとりがなかったというのが実情。しかし、ストレス解消にはスポーツが一番。せめてスポーツを楽しむぐらいの精神的、時間的ゆとりを作りたいナア。